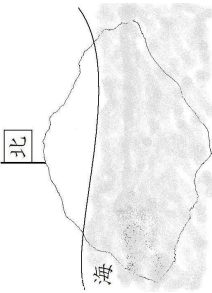
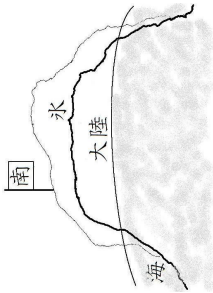


※ 解答は、《解答らん》に書きましょう。

「初めて知ったことを、資料を使って伝えよう」という学習に取り組んでいる小学五年生の田中さんは、次のスピーチ原稿を作りました。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【スピーチ原稿】

1	<p>みなさんは、北極と南極のどちらが寒いと思いますか。</p> <p>まず、この図（図1）を見てください。</p> <p>北極とよばれる地域は、ほとんどが海にうかんでいる氷の上にあります。</p>	
2	<p>次に、この図（図2）を見てください。</p> <p>南極は、このように平均二千四百五十メートルの厚い氷におおわれた大陸になっています。</p> <p>北極の氷の下にある海の水はこおっていないので、温度は0度より少し低いくらいです。だから、氷の上でもひどい寒さにはなりません。</p>	<p>図1</p> 
3	<p>大陸の上に氷がいくえにもかぶさっている南極は、まるで高い山です。高い山は平地よりも気温が低く、しかも、海からはなれて内陸へ行くほど寒くなります。</p> <p>つまり、氷におおわれた大陸である南極は、海上にうかんだ氷の北極より寒いということになります。一年間の平均気温を比較すると、南極は北極よりも二十度ほど低いそうです。</p>	<p>図2</p> 

一 田中さんは、小学四年生に対してスピーチをすることになり、グループ内で読む練習をしました。そのとき、林さんから次の助言を受けました。



「聞いていて、四年生にはむずかしい言葉がいくつかありました。話す相手のことを考えて、むずかしい言葉はなるべく使わないようにしましょう。」

林さんの助言の——線部「四年生にはむずかしい言葉」が、最も多く使われているのはどこでしょうか。【スピーチ原稿】の1から3の中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

二 次のアからエまでのスピーチの工夫のうち、【スピーチ原稿】で田中さんが取り入れていないものを一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 資料を見せながら話す。

イ 聞き手を引きつけるために問いかける。

ウ 具体的な数字を入れる。

エ 結論を先に述べ、あとから理由を言う。

【スピーチ】

三 次は、林さんが「お札」について調べた結果を記録したノートと、スピーチのために準備した資料（カード）です。これらを読んで、下の問いに答えましょう。

【ノート】

日本のお札には、六けたの数字と二つのアルファベットを組み合わせたものがついている。このうち、アルファベットの「I」と「O」は、数字とまちがえることがあるので、使わないことになっている。

【カード】

(お札についている番号と記号の例)

A 1 2 3 4 5 6 B



(問い)

林さんは、小学六年生に対してスピーチをすることになり、上の【カード】を使い、【ノート】の内容について話します。

あなたなら、どのように話しますか。次の条件に合わせて、スピーチの原稿を書きましょう。

(条件)

- 「カード」、「アルファベット」の二つの言葉を両方使い、【ノート】の内容をもとにして書くこと。
- 二つ以上の文で、八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

I

II

III

↓ 1111から書き出すこと。また、行を数えずに書くこと。

○																			

80

100

一 3

二 エ

三 (例1)

みなさん、このカードを見てください。二つのアルファベットと六けたの数字が書かれています。これは、お礼についているものです。数字とまちがえやすい「I」と「O」のアルファベットは、使わないのだそうです。(100字)

(例2)

みなさんは、お礼に使われている数字やアルファベットを知っていますか。それは、このカードのようになっています。アルファベットの「I」と「O」は、数字とまちがえるといけないので、使われません。(95字)